

2024年6月5日

各 位

栗田工業株式会社
三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMFL みらいパートナーズ株式会社

「クリタサムズシステム®」の普及に向けた業務協定の締結について

栗田工業株式会社（代表執行役社長：江尻 裕彦、以下「栗田工業」）、三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）、および SMFL の戦略子会社、SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL みらいパートナーズ」）の3社は、使用済紙おむつの分別処理装置「クリタサムズシステム®」（以下「本装置」）の普及を目的とした業務協定を、本年5月31日に締結しました。

日本国内では、使用済紙おむつは主に一般廃棄物として廃棄物処理業者や地方自治体などの焼却施設で処分されており、今後、高齢化社会の進行などを背景に、廃棄量の増加が予測されています。焼却処分する際のエネルギー消費やCO₂排出増加を抑制し、廃棄物を再資源化していくことが求められています。

本装置は、栗田工業が2023年11月から事業展開している、従来焼却処分されていた使用済紙おむつを殺菌・洗浄・分解し、ビニール袋などのプラスチック類とパルプ類を含む処理水への分別を可能にするもので、廃棄物量、ならびに焼却に伴うエネルギー消費量やCO₂排出量の削減が見込めます。また、分別したプラスチック類やパルプ類は、再生プラスチックや再生パルプとして利活用することで、使用済紙おむつを再資源化することができます。

3社は、互いの強みやネットワークなどを活用し、本装置への関心や需要のある廃棄物処理業者や地方自治体へアプローチするとともに、SMFL グループのファイナンス機能を活用した本装置導入にあたっての幅広い選択肢を提供し普及を促進することで、使用済み紙おむつのリサイクルを通じた循環型社会の実現への貢献を目指してまいります。

【クリタサムズシステム®実機外観】



【クリタサムズシステム®を利用したリサイクルフロー】



クリタグループは、本装置の普及を加速することにより、使用済紙おむつの再資源化、また、再資源化による廃棄物量やその焼却にともなうエネルギー消費量やCO₂排出量の削減への寄与を通じた、循環型経済社会構築や脱炭素社会実現への貢献を目指してまいります。

SMFLグループは、経営理念・経営方針を示す「SMFLWay」のOur Vision（私たちの目指す姿）の一つとして「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げ、SDGs 達成を支援するさまざまなサービスを提供しています。また、中期経営計画で「幅広い金融機能を持つ事業会社の強みを追求し、社会課題の解決に挑戦」をテーマに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組みを推進しています。

以上

【お問い合わせ先】

栗田工業株式会社	広報課	森田/成田	TEL 03-6743-5006	(広報課代表)
三井住友ファイナンス&リース株式会社	広報IR部	山本	TEL 03-5219-6334	